ふるさと侍従川に親しむ会 会報

ヤマアカガエル号

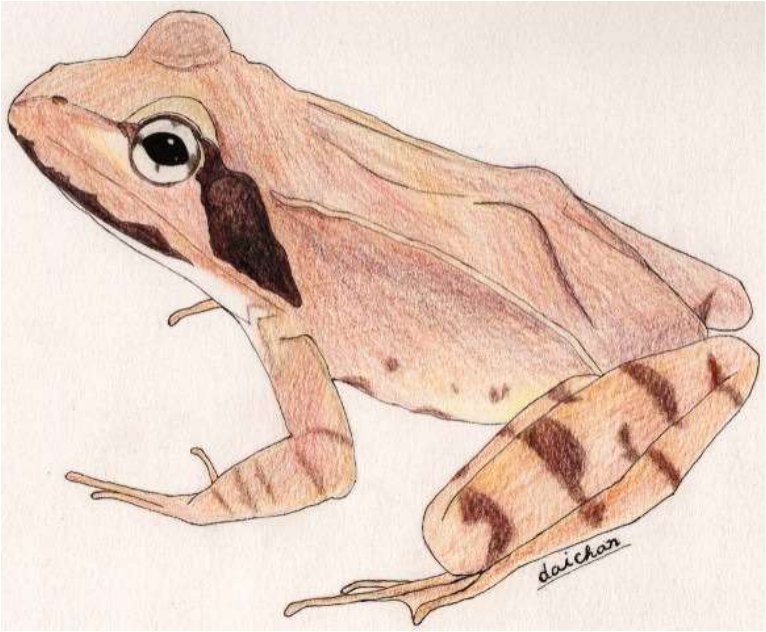
≪私が子どもだった頃≫(最終回)　代表　山田陽治

子どもの頃、春になると野島に潮干狩りに行きました。その当時の様子と今の様子はほとんど変わってないように思いますが、今の方が水はきれいだと思います。ただ、アオサ（アナアオサ）が打ち上げられて波打ち際で腐敗しているのは、今も昔（昭和50年代）も変わらないように思います（実感としては今の方が多いような気がします）。

その頃、よく採れたのはアサリで、たまにバカガイが採れました。あとは砂をたくさん噛んでいるシオフキガイが増えてきて、アサリがあまり採れなくなってきたので、段々と潮干狩りに行かなくなりました。

潮干狩りでは、他にもいろんな生きものをよく見かけましたが、アマモ場が復活（？）した現在の方がより生きものを見かけるような気がします。

野島の隣には、乙舳（おっとも）海岸という、野島と同じく自然海岸がありましたが、小学校高学年の頃に埋め立てられ、人工海浜の「海の公園」になりました。子ども心ながら、「なんで、海を埋めてまた海をつくるんだろう？」と憤りに近い感情を持ったのを覚えています。…横浜市には自然海岸は野島だけになってしまいました。



ヤマアカガエル（山赤蛙）
学名：*Rana ornativentris*

和名のとおり山地に多いアカガエル。体長は4～8㎝程で、メスの方が大きくなる。

侍従川流域では2～3月頃に田んぼや池等に産卵する。卵はタピオカ状で、１つの卵塊に1,000～1,900個程の卵が入っている。

雄は下顎に左右１対の鳴嚢を持ち、繁殖期には「キャララ、キャララ」と響く声で鳴く。

小種名の「ornativentris」は腹に模様を持つという意味。

深沢大地

侍従川流域の街並みは、昭和45年生まれの僕の子どもの頃からはあまり変わってはいないのですが（僕らのカブトムシ&クワガタの最大採集地であった大道小の裏山の開発と、かなり後になりますが、今はなき六浦保育園裏から東急車両裏の開発ぐらい）、僕が子どもの頃によく行っていた白山道（釜利谷）のあたりはすごく変わってしまいました。この辺りには田んぼがまだあり、ザリガニやカエルを捕りに行きました。今、覚えてるのは、オオタニシ、アメリカザリガニ、ウシガエル、アカガエルのオタマジャクシで、他に何ガエルがいたのか？小学校低学年の頃なので記憶に残ってないのでわからないのが残念です。メダカもいたような記憶もありますが曖昧です。

今思えば、しっかり記録にとっておけばよかったと思うのですが、自分にも周りにもそんな意識もないし、記録する場所もなかったです。ただ、本当に楽しかった！という思い出だけしか残っていません。

この「私が子どもだった頃」では、かろうじて昭和初期（戦中戦後ぐらい）の侍従川流域が描かれ、貴重な記録が残されたのが大変嬉しいです。「私が子どもだった頃」は、とりあえず連載を終了しますが、また機会があれば不定期に掲載したいと思います。貴重な話をお寄せくださった皆様、何度も聞き書きしてくださった廣瀬さん、大変ありがとうございました。　（おわり）

２０１８年3月4日　相川元治

侍従川のゴカイの産卵？

本日２０：００頃川町内会　菅野さんよりゴカイの大量発生の連絡があり現場にて確認。ゴカイは菅野さん宅の前の街灯の明かりの下が一番多く発生していた。ゴカイの大きさは約１０～１５ｃｍ程度で川の左岸（下流に向かって左側）のみ発生しており、全体の発生地点は長さで１００ｍ程度であった。念のため下流の汐見橋にて確認をした所そこではほとんど居なくて左岸にはそこそこ姿が見えたが右岸ではほんの２～３匹程度が確認できるだけであった。

会報カラー印刷のお知らせ

会報担当　河本充雄

今年度までの会報印刷費用は年間42,000円で、会員の皆さまに納めていただいた年会費のうちの実に３割弱を占めていました。２０１６年２月に発売されたエプソンのプリンタ（エコタンク）は、Ａ４カラーの印刷費が約０．９円／枚と格安のため、運営会議で検討した結果、来年度に購入することになりました。このプリンタによって、これまで白黒だった会報をカラーにできる上に、年間の印刷費用は約16,000円になるため、約２６,000円節約できます。

次号からはカラーの会報をお届けしますのでお楽しみに！！

冬の森探検

【活動報告１】

１２月９日（土）　９：００～

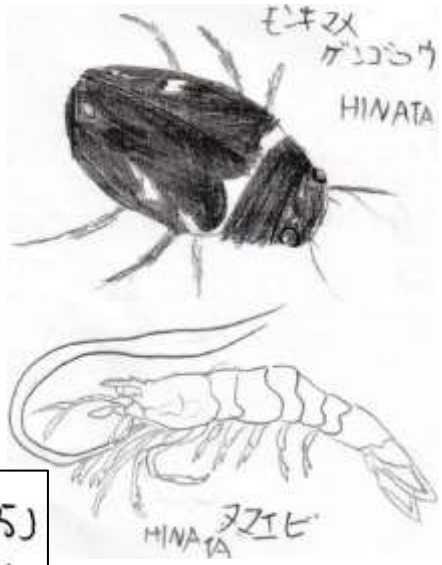
貞廣宇保（小５）

１２／９（土）に行われた冬の森探検に行ってきました。集合場所（大道小学校）から目的地までは、とても遠かったけれど歩くことができました。この日は、冬だけどあたたかく過ごしやすい日でした。冬の森探検は何度か来たことがあったので、なんとなく進む流れは分かっていましたが、やっぱりワクワクしました。

最初のポイントでは、アリジゴク（ウスバカゲロウの幼虫）がたくさんいました。次のポイントでに進むと、アオキの木があり、その種を飛ばして遊びました。アオキの種には油(？)がふくまれているので強く押すと種が飛び出ていくみたいでした。さらに進むと川の源流があり、そこではヤゴやエビ、小形のゲンゴロウなどがいて、川に入ってとりました。ヤゴの中には初めて聞く種類もいて、自分では、「勉強しなきゃ」と思いました。また川の横に生えている竹をとりました。

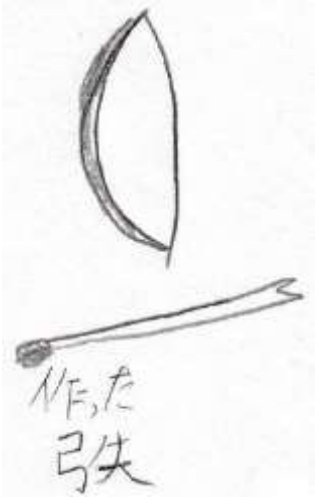
午前の活動は終わり午後の活動がスタート。まず山の上の方へ移動し、さきほどとった竹で弓矢作りを開始しました。切った竹にたこ糸をつけ、細い竹を矢にして飛ばす弓矢です。前は、もっと大きな弓矢だったのですが、年々小さくなっている気がします。弓矢作りが終わり、戻る途中に、フユイチゴというイチゴのような１ｃｍほどのイチゴがあり、食べました。フユイチゴは、少し酸味があり、とてもおいしかったです。

とても長いきょりを歩きましたが、とても楽しかったです。



冬の森探検　柏倉陽向（小5）

3年前にはじめていった冬の森探検やっぱり楽しいです。はじめは何をするか分からなかったけど3回いったら楽しみなことが増えた気がします。
ガミの実を飛ばしてあそんだり、小川で生き物をとったり竹でぶた笛を作ってなるかならないかの勝負をしたりしました。
小川では色々な生物がとれました。それはガガンボのよう虫や朝ひなルトンボのヤゴ、モンキマメゲンゴロウ、ヌマエビなど色々な生き物がとれました。ちなみにすべる道で自分は転びました(笑)



１２月定例クリーンアップ

【活動報告２】

１２月２４日（日）　９：００～１１：００　曇り　　細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋（土嚢袋６袋分回収）

参加者：長野政治、西澤博厚、中村健二、角田繁、関場俊子、八木場紀元、村田章夫、山田陽治、遠藤ゆう、大石剛司、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向（小５）、柏倉陽斗（小２）、小池碧馬、貞廣宇保（小５）、柴田繭子、柴田真菜（小６）、柴田幸成（小１）、今井康祥、今井翔太、五月女陽斗（小３）、菊池悠紀（小５）、金澤由香、金澤喜乃、深沢大地、高橋一太、細川一雄（計２８名）

地蔵前橋下からブックオフ

今年最後のクリーンアップ、冬将軍が到来して寒い日が続いており、当日は曇り空でしたが久しぶりに１４℃と寒さをそれほど感じない日でした。しかも、クリスマスイブです。そんな日に 28 人も参加して頂き有難う御座います。さらに、入院されていた二人の方も無事退院され今回のクリーンアップに参加してくれました。とても嬉しい事です。

朝比奈橋下流からブックオフ

用意しておいた使い捨てカイロを付けて作業開始です。雨のない日が続いていた為に水量が若干少ないような気がします。地蔵前橋の下に大量の鳥の羽が散らばっていました。その下流には鳩？と思われる死骸が落ちていました。今回も大きなゴミは見当たらず、相変わらず多いのは煙草の吸い殻です。橋の下には火を点けたまま捨てた燃え殻もありました。

作業の後は、芋煮でお腹を一杯にします

清掃作業終了後、関場さんが故郷から送られてきた里芋を使って、牛肉や野菜を足して、大きな鍋に芋煮を作っておいてくれました。程よい甘味が有りとっても美味しかったです。足りない子どもにはお代わりを出して完売いたしました。関場さん有難う御座います。今回が今年最後のクリーンアップとなります。皆さん一年間有難う御座いました。良いお年をお迎え下さい。そして来年も宜しくお願い致します。

回収した６袋分のゴミ

ネイチャークラフト教室

【活動報告３】

１月２７日（土）　９：００～

柴田真菜（小６）

1/2 7(土)ネイチャークラフト教室が行われました
最初に森でつるをとりました。ターザン遊びもしました。
午後から、森でとったつるでかごを作りました。
今年は上手に作れました。

イラスト柴田真菜

生き物発見記録

１２／９（土）熊野神社付近でサンショウクイを観察。北上してきた亜種リュウキュウサンショウクイだと思われる。(深沢・遠藤・貞廣)

１２／２３（土）侍従川中流域(山王橋付近)で、キセキレイを確認。侍従川では恐らく２例目の観測。(平川・深沢)

２／１２（月）大道中裏山の畑手前の坂途中の小ため池でヤマアカガエルの一卵塊を確認。（飯村）

イラスト貞廣宇保

１月定例クリーンアップ

【活動報告４】

１月２８日（日）　９：２０～１１：００　晴れ　　細川一雄

実施内容：山王橋～大道橋～朝比奈橋（土嚢袋７袋分回収）

参加者：長野政治、西澤博厚、中村健二、角田繁、関場俊子、大石剛司、外川忠志、山田　陽治、柏倉正和、柏倉陽向（小５）、柏倉陽斗（小２）、小池碧馬、貞廣宇保（小５）、大野颯太、五月女陽斗（小３）、今井康祥、今井翔太（小６）、柴田繭子、柴田真菜（小６）、柴田幸成（小１）、小川和美、小川翔太（小６）、深沢大地、高橋一太、金澤喜乃、細川一雄（計２６名）

地蔵前橋下流の清掃

平成 30 年最初のクリーンアップですが、１週間前に 48 年ぶりの大雪（積雪 21 ㎝）が降りました。その後最低気温が氷点下となる冬日が８日間続き（５０数年ぶりに氷点下３℃を記録した日も有りました）、当日はもとても寒い日となりました。そんな寒い日、30 名近くのメンバーが参加して頂きました。今年も宜しくお願い致します。

青木橋下流のつらら

用意しておいた使い捨てカイロを付けて作業開始です。今回は煙草の吸い殻はいつもの通りでしたが爆弾低気圧の影響で風の強い日が続いたためかコンビニ袋が多い様に感じました。途中直径５ｃｍ程の短いボルトとフェンスにかける植木鉢のホルダー、更に植木用のグリーンの棒を何本か回収しました。花を植えたりする人が使わなくなった器材を平気で川に捨てる、その心境がわかりません。

青木橋下流の残った雪
あちこちに有り

清掃作業終了後、ちとせ園の真向かいの家の竹が 10 数本、先週降った雪の重みで折れて川に垂れ下がっていましたので、切り落とし枝を払って二の橋下にまとめておきました。また、今迄回収したゴミを一時的においていた県営住宅跡地が使えなくなった為（跡地を県が民間業者に売却）ちとせ園の下の階段に置いておきました。

現在区政推進課と金沢土木に相談し、ちとせ園の隅に置けないか調整中です。基本的には OK だが公園愛護会の了承も必要との事で２月 16 日の公園愛護会の役員会での結果待ちとなっています。

回収した７袋分のゴミ

２月定例クリーンアップ

【活動報告５】

２月２５日（日）　９：００～１１：００　曇り　気温４℃　　細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋～耕地橋（土嚢袋８袋分回収）

参加者：長野政治、西澤博厚、中村健二、角田繁、関場俊子、石塚正夫、村田章夫、大石剛司、外川忠志、山田陽治、柏倉正和、柏倉陽向（小５）、柏倉陽斗（小２）、柏倉智春、小池碧馬、水野公秀、水野秀昭（小４）、小坂信房、柴田繭子、柴田真菜（小６）、柴田幸成（小１）、小川和美、小川翔太（小６）、深沢大地、金澤由香、細川一雄（計２６名）

作業準備風景

立春から３週間以上過ぎても、相変わらず最高気温が10℃を超えない日が続いています。今年の冬は異常に寒いので、当日は長袖の下着とズボン下、毛糸の帽子と首巻、ダウンジャケットと裏起毛のズボンを履き万全の防寒対策をして参加しました。

朝比奈橋下流と大道橋上流のゴミ回収作業

前日の確認作業で朝比奈橋の上流にもゴミが落ちていましたので、今回は堰を上って耕地橋まで行き、そこから清掃作業を開始しました。横浜市の草刈り後、草も生えてこないのでゴミが直ぐ見つかるので作業がはかどります。毎回の事ですが、コンビニ袋と煙草の吸い殻が多いのには泣かされてしまいます。特に朝比奈橋脇の養護老人ホームの窓の下側に煙草の吸い殻が毎回棄てられています。多分居住者か誰かが窓から投げ捨てているのではないかと思われます。

朝比奈橋下流のゴミ回収作業

清掃作業終了後、ちとせ園に戻りましたが子ども達は石の下に植え付けられた魚の卵塊調査の途中の様でまだ戻ってきていませんでした。急いでお菓子と飲み物（寒いので少なめ）を買い出しに行きました。なお、今回からゴミの一時置き場所としてちとせ園（大道一丁目緑地）に置かせてもらえることになりました。区政推進課の奥田氏に尽力頂き土木事務所と公園愛護会の了承を頂きました。有難う御座います。なお、報告書もマンネリとなってきましたので、今後は参加者名とゴミの回収数と写真のみ掲載させて頂きますのでご了承下さい。

１５袋分のゴミ（１月度分７袋と今月分８袋）

ピカピカタンポポだより⑦　横浜市立大道小学校　鷺谷康子

大道小学校のトンボ池の授業のこと！

～相川さん・尾上先生・山田さんにお世話になりました～

１年生は、学校探検をします。学校のことを知るのが目的ですが、その中から自分たちの学校についての不思議？をみつけて、疑問・自分たちの問題を解決していく学習を進めます。

今年の１年生も、いろいろな疑問を見つけて解決していったのですが、学校の中でも、とんぼ池に興味をもつ子が多く、また生き物にも、興味が広がりました。トンボ池清掃も行い、自分たちでも休み時間に、ザリガニやメダカ、エビを見つけて飼ってみたり、図鑑や本でしらべたりしました。

生き物のこと、そしてトンボ池にまで興味が広がり１月に大道村の村長の相川さんに来ていただき、トンボ池を作った訳や作った時のねがい、その時の、様子やそのころのトンボ池の様子についていろいろなことを教えていただき、２３種類いたトンボがいまは１３種類に減ってきていることも話していただきました。

そのお話からとんぼ池の生き物を大切に、守らなきゃ！と言いうことがわかり、その手始めとして、もっとトンボ池の良さを知らせようと、右のような歌を作りました。（２組は守るぞ！トンボ池、１組は大好きなザリガニの歌と劇です。）

♪まもるぞ！とんぼいけ！♪（一部）
（南の国のハメハメハ大王の曲で）
１番はる・２番なつ・３番あきに続き
４　ふゆには　こおりがはっている
その名もすてきな　とんぼいけ
エビやめだかは　川のそこ
ざりがに　どろにもぐってる
かえる　まん月　たまごうむ
きらきらで　つめたいよ
たのしい　　とんぼいけ

生きものを　　たすけるぞ！
まもるぞ！　　とんぼいけ！

３月８日にトンボ池を作った時を知っていらっしゃる、尾上先生・山田さんにその歌と劇を見ていただきました。お二人から、歌をほめていただき、トンボ池と侍従川が、生き物たちを通してつながっていること、トンボ池を作った時に増やしたいと思った生き物ベスト３など、貴重なお話を伺いました。３位メダカ２位カエル１位トンボでしたが、特別１位が「子どもたち！生き物や自然に親しむ子どもたちが増える事」というお話を聞き、みんな、にこにこになった子どもたちでした。

侍従川に親しむ会の皆様に学習も、支えられています。ありがとうございました。

朝夷奈の森通信　～森の忍者より～　飯村優介

１月 22 日は４年ぶりの大雪。日々の練習は雪の森へ。

寒気が強く麓の木々も着雪で見事なよそおいだ。高速道路は止まり、車の騒音も消えた。風の息と森にひそむ音のみ。0℃以下での時間が長い高度 100m から上は雪の量も増え樹木の着雪も特に見事だった。

翌日は十二所頂上手前でタヌキらしき足跡を見た。頂上付近では最大時 30cm を超える積雪だった。

雪の藪椿

足跡

尾根道

琉球生き物紀行　～美ら島の生き物たち～
～　アマミアカガエル　～

学名：*Rna Kobai*　　体長：オス：３４－４１mm　メス：４２－４９mm

分布：奄美大島、徳之島、加計呂麻島（？）

沖縄本島のリュウキュウアカガエルと同種として扱われていましたが、2011 年に独立種として記載されました。鳴嚢（めいのう）という鳴く際に膨らむ袋を持たないカエルでキョ♪、キョ♪、キョ♪・・・と甲高い声で鳴きます。一般の図鑑では分布が奄美大島、徳之島となっていますが、撮影者は加計呂麻島でも確認しています。琉球列島の中心に位置する中琉球の北側の島々はまだまだ新たな発見がありそうです。

監修：熊井健（沖縄在住）

北の国から　～もうすぐ雪解け、子育ての季節～　　瀧本宏昭

3月に入り、苫小牧周辺では雪が雨になる日も増え、寒さも和らいでしました。私が勤めるウトナイ湖も、まだほとんどの湖面が氷っていますが、徐々に溶けている面積が広がって来ています。その氷が溶けた隙間に、3月10日の早朝、ガンの仲間約1万羽がねぐらをとっているのを確認しました。北のロシアへ渡り始めているのです。もうすぐ春、野鳥たちも子育てのための場所を求めて移動をはじめています。そして、注目している野鳥の状態を確認するために、私たちレンジャーも動き始めます。

3月10日朝、カウントに必死でガンの飛び立ちを撮れず

注目している種類の１つが、前回も書いた「タンチョウ」。3月下旬ごろからウトナイ湖周辺では見られるようになります。むかわ町周辺にいる1つがいに続いて新たなつがいができるかもしれない。そしてそれはどこなのか。まさに宝探しです。

やっと撮れたオオワシ幼鳥

なぜそこまで注目するのかというと、タンチョウが増えてうれしいというのもありますが、分からないこともたくさんあるからです。その１つは田んぼとの関係。実は、今までタンチョウが多くいた北海道東部（道東）には田んぼがありませんでしたが、これから拡がろうとしている場所は米の一大産地。田んぼをどのようにタンチョウが使うのか注目されます。ちなみに農業被害はほぼゼロだと言われています。専門家のお話ではタンチョウが多く暮らすことができない（開発で湿地が少ない）地域だということやトキなどの事例などが理由として上げられています。

道は溶けかけ氷でツルツル

苫小牧や札幌周辺（道央）は人の数が北海道東部（道東）よりも多く、交通事故や人による追い掛け回す行為の増加なども心配されています。むかわ町では過去に人の追い掛け回しでヒナが水路に落ちて死んでしまった事件があり、それ以来「むかわタンチョウ見守り隊」が地元で結成され、現在までで4羽のむかわ生まれの子が育っています。
だれもが知る人気者のタンチョウ。道央でも人とうまく共生していけるように、できることを頑張っていこうと思います。

侍従川定例調査報告　学生部

２０１８年1月２８日（日）　９：００～１１：００

【調査範囲】泥牛橋～二の橋

【参加者】小学生9、中学生1、高校生3、大学生1、大人16

【確認した生物】イシマキガイ、カワニナ、コオニヤンマ幼虫、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、ビリンゴ、ウキゴリ、スミウキゴリ、チチブ、クサフグ

【備考】大道東橋下流にスミウキゴリ卵塊６、二の橋下流にウキゴリ卵塊１を発見した。

ウキゴリの卵塊

スミウキゴリの卵塊

クサフグ

２０１８年2月２５日（日）　９：００～１１：００

【調査範囲】泥牛橋～二の橋

【参加者】小学生7、中学生2、高校生２、大人14

【確認した生物】イシマキガイ、カワニナ、タイワンシジミ、ハグロトンボ幼虫、コオニヤンマ幼虫、ヤマサナエ幼虫、コヤマトンボ幼虫、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、アシシロハゼ、ウキゴリ、スミウキゴリ卵塊、チチブ

【備考】下流域では、11月から始まっているスミウキゴリの産卵が見られた。

今回見られた卵塊数は５つで、淡水域でも見らた（メンバーによると、うち一つは別種かもしれないとのこと）。

昨年初確認されたタイワンシジミ？が、下流の汽水域で見つかった。しかも大きい。

中流域では、カキツバタがだいぶ伸びてきていた。

タイワンシジミ？

ウキゴリ

中流域のカキツバタ

事 務 局 だ よ り

平成３０年度　ふるさと侍従川に親しむ会　総会のお知らせ

日にち：平成３０年6月9日（土）

第Ⅰ部　会員の集い　１８：００～１９：００

　会場：大道コミュニティハウス（予定）

第Ⅱ部　ホタル観察会　１９：３０～２０：３０（参加自由）

　会場：大道中学校校庭

詳細は５月の連休明け頃にハガキにてお知らせします。

【年会費について】

・ここ数年ご家族で入会される方が増えているため、来年度から家族会員(4,000 円)を設けたいと考えています。次回の総会にて規約を改定する予定です。

・来年度の会費の納入は総会以降にお願いします。

・会費の納入は、総会のときに限り現金を受付けますが、その他は必ず郵便局払込票で支払いください。現金での受け渡しは間違いのもとになりますのでご遠慮ください。

◆４月～６月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ４／２２（日）、５／２７（日）、６／２４（日）

　９時～１２時ちとせ園集合　※雨天延期…翌週日曜

　持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手（必要な人）、網（使いたい人…貸出あり）、着替え（心配な人）　※川の上からの参加でも構いません

☆４／７（土）春の草摘み&野草料理　９時大道小学校集合　解散は１５時頃

　活動場所：午前…朝比奈町で野草摘み　午後…大道一丁目緑地で野草料理

　事前申込み不要　雨天中止　参加費：会員無料、非会員￥300

　持ち物：参加費（非会員）、山歩きできる格好、摘んだ野草を入れる袋（レジ袋など）、タオル、軍手（必要な人）、レジャーシート（必要な人）、長靴（持ってこれる人）、箸、その他

☆４／８（日）学生部新入生歓迎遠足ｉｎ森戸川

☆５／２７（日）救命救急講座　１３時～１５時　大道コミュニティ会議室　参加無料

　※詳細はメーリングリストでお知らせします。

≪編集後記≫　１０年間続いた「私が子どもだった頃」の連載は今号で最終回となり、次号から会報はカラー化と、大きな節目を迎えた感じがしています。(ＭＫ)

ふるさと侍従川に親しむ会
事務局：金澤
TEL：090-4072-8485
e-mail：jijyukai@gmail.com